

あかるく かしこく たくましく

令和6年9月18日 No. 21 文責：校長 佐野紳二

パラリンピックを通して考えてみましょう

8月28日から9月8日までの12日間、パリパラリンピック2024大会が開催されました。日本選手団は金メダル14個（東京大会を上回り、過去最高）を含む41個のメダル（金14個・銀10個・銅17個）を獲得し、これに先駆けて行われたオリンピック同様、多くのアスリートの活躍に大いに盛り上がった12日間となりました。私が最も印象に残ったのは、車いすラグビーの金メダル獲得でした。エースの池崎大輔選手は昨年、本校を訪れ、6年生（今の中学1年生）に車いすラグビーの魅力を伝えてくれました。



パラリンピックの開催に伴い、テレビをはじめとする様々な報道で「共生社会」とか「ダイバーシティ」なんていう言葉を目にすることが多くありました。せっきくの機会ですので、パリパラリンピック2024大会に合わせ、これらのことについて一緒に考えていただければと思います。第1回目の今日は、パラリンピックについてです。

【パラリンピックとは】

パラリンピックは世界最高峰の障がい者スポーツ大会で、トップアスリートが高いパフォーマンスを競う世界的なイベントです。オリンピックと同じく、夏季・冬季大会がそれぞれ4年に一度、オリンピックの終了後に同じ場所で開催されます。

国際パラリンピック委員会（IPC）は、パラリンピックに出場するアスリートたちが持つ力こそがパラリンピックを象徴するものであるとし、**勇気**（マイナスの感情に向き合い、乗り越えようとする精神力）・**強い意志**（困難があっても、あきらめず限界を突破しようとする力）・**インスピレーション**（人の心を揺さぶり、駆りたてる力）・**公平**（多様性を認め、創意工夫をすれば誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力）の4つの価値を掲げています。

【パラリンピックの歴史】



PARIS 2024



パラリンピックの起源とされているのは、1948年に行われたロンドンオリンピック開会式と同日に、イギリスのストック・マンデビル病院で行われたストック・マンデビル競技大会とされているようです。この大会は、戦争で負傷した兵士たちのリハビリテーションとして「手術よりスポーツを」の理念で始められたものです。この大会では、車椅子使用入院患者男子14人、女子2人によるアーチェリー競技会が行われました。

1960年には国際ストック・マンデビル大会委員会が組織され、この年のオリンピックが開催されたローマで、第9回国際ストック・マンデビル競技大会が開催されました。この大会が現在、第1回パラリンピックと呼ばれています。ちなみに、今回のパリ2024大会は「第17回大会」になるそうです。

【パラリンピックという名称】

パラリンピックという言葉は、もともとはパラプレジア（Paraplegia、脊髄損傷等による下半身麻痺）とオリンピック（Olympic）を合わせた造語だったとされています。

国際オリンピック委員会（IOC）は、1985年に「パラリンピック」を大会名として用いることを正式に認めました。このとき、既に半身不随者以外の身体障がい者も参加する大会となっていたことから、大会名の意味を「ギリシャ語のパラ（Para・英語のパラレル（平行）の語源）＋オリンピック（Olympic Games）」として、「もう一つのオリンピック」と再解釈することにしました。これに伴って、1988年のソウル大会から、「パラリンピック」が正式名称となり、1960年のローマ大会以後の国際大会を、さかのぼって「パラリンピック」と表記することになったそうです。

【パラリンピックの実施競技】



パラリンピックでは22の競技で549種目が実施されました。陸上競技や水泳の一部の種目のように、オリンピックで行われている競技とほぼ同じかたちで行われている競技があったり、車いすラグビーのように、名前は似ていても全く異なる競技があったりします。ボッチャやゴールボールなど、オリンピックでは全く見られないような競技も実施されています。

【各競技におけるクラス分け】

パラリンピックの特徴として、各競技種目の「クラス分け」があります。これは、同一レベルの選手同士で競い合えるようにするために、障がいの種類、部位、程度によって分けられるものです。競技種目によって異なりますが、陸上競技であれば視覚障がい、肢体不自由、知的障がいなどに大別され、肢体不自由でも、原因が脳性麻痺であるか手足の切断であるかなどで区分され、さらに障がいの軽重により種目ごとに及ぼす影響で階級化されているそうです。



今日はここまでです。次号では「共生社会」について書かせていただこうと思っています。

2学期の代表委員のみなさんです

先週の木曜日に、オンラインで代表委員の任命式を行ったことは本校のホームページでも紹介させていただきましたが、そこではお伝えできなかった2学期の代表委員のみなさんをご紹介します。

任命書を受け取る時の子どもたちの目が、キラキラと輝いていたことがとても印象的でした。2学期は運動会や音楽会など、たくさんの行事があり、クラスで何かに取り組む機会も1学期以上に多くなると思います。ぜひ任命式で見せてくれた目の輝き＝みなさんの「やる気」を大切に、頑張ってもらいたいです。



各家庭に配布した学校通信には代表委員の名前を掲載しましたが、ホームページへの掲載は控えさせていただきます。任命式の様子は「学校のひろば」の9月12日更新のページに掲載してありますので、そちらもご覧になってください。